

安全・安心通信

第20号

平成26年3月発行

安全は地域のきずなと あなたの意識



岡山県マスコット
「もっち」と「うらっち」

防犯ボランティア特集号

今回は、県の取組事例、県内で特色のある活動に取り組んでいる団体や、学校と地域が緊密に連携した先進的な取組をしている6団体の活動を紹介し、地域における安全・安心なまちづくりを進める参考にしてください。



| | |
|--------------------------|------|
| 加茂学区安全・安心ネットワーク（岡山市北区） | 2ページ |
| 福元地域安全パトロール隊（瀬戸内市） | 3ページ |
| 柳田町中地区自治会明るい地域をつくる会（倉敷市） | 4ページ |
| 玉島中央交番自主パトロール隊（倉敷市） | 5ページ |
| 番町ニコニコ隊（笠岡市） | 6ページ |
| あさひみまわり隊（美咲町） | 7ページ |



取材に御協力いただいた団体の皆様、ありがとうございました。
くらし安全安心課のフェイスブックでも紹介していますので、ぜひ御覧ください。

自主防犯★スタートアップ講座、防犯力診断を実施

2月1日（土）岡山県生涯学習センターで、平成25年度第2回「自主防犯★スタートアップ講座」、「防犯力診断」を開催し、約70名の方が参加しました。

講座では、NHK岡山放送局専任記者の寺井数美さんによる「安全・安心のまちづくり～岡山での取組について」と題する講演が行われました。寺井記者は、安全・安心をテーマに、防災・減災にすることから身近な危険に関することまで幅広く取材されており、視聴者に伝えるための工夫などについて、わかりやすくお話しいただきました。

講座の後には、「防犯力診断」が行われ、防犯に関する条例、指針、マニュアルなどから出題された50問の○×問題に約50人が挑戦しました。1級から3級のバッジ取得に向けて、平素の知識や経験を生かし、熱心に取り組んでいただき、今回、初めて1級取得者が誕生しました。



NHK岡山放送局寺井数美記者による講演

防犯力診断

団体のプロフィール

- **結成**
 青色防犯パトロール隊 平成 18 年
 自主防犯パトロール隊 平成 20 年
- **団体の構成等**
 ・代表：定廣 好和さん
 ・構成：青色防犯パトロール隊 32 名
 自主防犯パトロール隊 68 名
- **活動内容等**
 ・活動区域：岡山市立加茂小学校区
 ・活動内容：月 4 回以上の巡回パトロール
 1 週間に 1 回、徒歩で夜間パトロール
 ・青パト車両 16 台



平成 25 年 7 月に、日本生命財団より助成金が贈呈されました



見守りのシンボル「ふくろう」がデザインされた「絆」帽子

加茂学区安全・安心ネットワークは、連合町内会をはじめ、小・中学校、民生委員・児童委員、長寿会、愛育委員、市消防団加茂分団等で組織され、声かけや見守りを通じ地域のつながりを大切にしています。

防犯部会、ケア部会、防災部会等、専門部会の運営と共に、年 2 回開催の、各部会が参加するサロンのような「拡大会議」は、大字単位で地域の課題や問題点の共有を図り、お互いの顔が見え、風通しの良い暮らしの確保に効果をあげています。

防犯部会には青パト 16 台(32 名)を有する青色防犯パトロール隊(平成 18 年 7 月結成)、各町内会をパトロールする自主防犯パトロール隊(4 町内会、各 17 名、平成 20 年 10 月結成)があります。

活動区域は、加茂学区全域(自主防犯パトロール隊は自町内)で主な活動内容は、青色防犯パトロール隊は月 4 回以上の巡回パトロール、自主防犯パトロール隊は 1 週間に 1 回、徒歩で町内の夜間パトロールを実施しています。

その他にも、各町内会の PTA・住民の参加による児童の登下校時の見守りとあいさつ運動を行っています。



自分たちの地域は自分たちで守る

平成 25 年 7 月 13 日(土)、岡山市立高松公民館において、平成 25 年度第 1 回加茂学区安全・安心ネットワーク拡大会議が開催されました。

ネットワークでは、学区内の防犯意識向上とパトロール隊の活動のマンネリ化防止のため警察、消防団との合同巡回、活動強化月の設定などを取り入れて活動をされていますが、今回開催された拡大会議では防犯に限らず、福祉、防災など多岐にわたり活発な意見交換が行われ、加茂学区内 28 町内会が、各地域の課題を全体で共有し、「自分たちの地域は自分たちで守る」ということを参加者全員が再確認しました。

『「地域づくり」を展開する上での一つの重要な要素が防犯であり、防災、福祉、健康、環境衛生、交通安全も同様に取り組んでいかなければならない。そして、学区内の風通しを良くし、お互いの顔がよく見える状態にすることが、一層の犯罪抑止につながると確信している。』と定廣会長。8 月 17 日(土)には活動の一環として足守川河川敷、加茂小学校体育館において防災訓練が実施されました。



拡大会議の様子



登下校時の見守りとあいさつ運動



団体のプロフィール

- **結成**
平成 15 年
- **結成の経緯**
地域の安全のためになることをしたいという思いからパトロール隊を結成
- **団体の構成等**
 - ・代表：吉田 晋策さん
 - ・構成：約 10 名（結成時約 30 名）
地域安全推進員、民生委員、地域役員等
- **活動内容等**
 - ・活動区域：J R 邑久駅周辺、福元駐在所管内
 - ・活動内容：邑久小学校児童や保育園児の下校時の見守り・安全指導（毎週水曜日）
活動内容の打合せ・意見交換等（毎月第 4 土曜日）
 - ・青パト車両 2 台



恒例のとうもろこし収穫祭



福元地域安全パトロール隊では、現在約 10 名の隊員により、毎週水曜日に邑久小学校児童や保育園児の下校時の見守り・安全指導、毎月第 4 土曜日には活動内容の打合せ等を行っています。

平成 25 年 7 月 12 日(金)、瀬戸内市邑久町地内の畑で、瀬戸内市副市長、地元の福田保育園園児、福元地域安全パトロール隊、福元地区住民の方々によるとうもろこし収穫祭が行われました。この収穫祭はパトロール隊の結成当初から地元の保育園児との交流のため実施しているもので、今年も吉田隊長が愛情をかけて育てたとうもろこしを園児らが楽しみながら収穫しました。「登下校の見守りは勿論のこと、こうして子どもたちと交流して触れ合うことも見守りの一環」と吉田隊長。参加者全員が家族のように収穫を楽しみました。

現在パトロール隊の隊員は 60～70 歳代が主で、構成メンバーが増加しないのが課題の一つです。自分の子どもや孫が小学校を卒業すると同時に辞められる方もいるとのことですが、「隊員それぞれが自分のできることを一生懸命して、地域全体で協力しながら安全、安心のまちづくりを心掛けたい。がんばりますよ。」と隊員の皆さんが力強く語って下さいました。

*収穫したとうもろこしの一部は、東日本大震災後交流を続けている福島県会津若松市へ保育園から送られるそうです。



「とうもろこし、とったど〜！」



子どもたちとの交流

団体のプロフィール

- **結成**
平成 14 年
- **団体の構成等**
 - ・代表：平松 萬喜夫さん
 - ・構成：33 名
自治会有志
- **活動内容等**
 - ・活動区域：倉敷市児島柳田町（中地区）
 - ・活動内容：下校時の見守り・定期パトロール
（毎週火・金曜 19:00～20:00）
役員会（年3回程度）
児島警察署・児島小学校・児島中学校、
自治会員による合同会議（結成以降4回実施）



自分たちの地域は自分たちで守ろう！

「今日はコンビニに寄ってみよう」「こちらの道をパトロールしよう」と1班7～8名編成で2方面に分かれてパトロールに出発しました。地域内の青少年のたまり場、危険箇所等を把握している会員たちが徒歩で約1時間のパトロールを実施しています。

「結成当初、青少年に対する指導時には危険を感じることもあったが、地道な活動により改善された。」と平松会長。パトロール中にすれ違う学生たちからは「こんばんは」の言葉もたくさん聞こえてきました。

また、小学校の下校見守り時には、会員の顔写真入りの名札を着用することにより、児童に対する不審者対策を実施し子どもたちの安全を守っています。

こうした活動は地域住民にも大変喜ばれており、隊員の活動の支えにもなっています。

今後も活動のマンネリ化等の課題はありますが、毎年実施している慰労会や普段の活動を通じてお互いコミュニケーションを図りながら“自分たちの町は自分たちで守ろう！”をスローガンに活動を続けていきます。



パトロールの様子



お揃いの活動帽子



これまでの活動に対して贈られた表彰状や感謝状



団体のプロフィール

- **結成**
平成 16 年 自主パトロール隊結成
平成 17 年 青色防犯パトロール車での活動を開始
- **結成の経緯**
当初は徒歩によるパトロールを実施していたが、平成 17 年より青色防犯パトロール車を導入
- **団体の構成等**
・代表：石井 春三さん
・構成：27 名
少年警察協助手員、地域安全推進員、
交通警察協助手員、地域住民等
- **活動内容等**
・活動区域：倉敷市玉島地区（主に玉島中央交番管内）
・活動内容：定期パトロール月 2 回（毎月第 2，第 4 金曜日）
青パト車は 1 台につき月 5～6 回以上のパトロール
児童下校時の見守り
・青パト車両 9 台



地域を見守る青色回転灯



定期パトロール実施日の平成 25 年 7 月 26 日 午後 7 時、玉島中央交番に続々と青色防犯パトロール車に乗車した隊員が集まりました。

隊員が揃ったところで 5 台の青パト車に分かれて乗り込み、活動区域内の方面ごとにパトロールに出発しました。青色回転灯を輝かせ、防犯啓発テープを流しながらの青パトが周囲の関心を引きつけます。

幹線道路はもちろんのこと、生活道路、犯罪の発生しやすい路地まで、くまなくパトロールを実施します。

約 1 時間のパトロールが終了する頃には辺りは暗くなり、青色回転灯がより一層輝いて地域の安全を見守っていました。本年、結成 10 周年を迎えた玉島中央交番自主パトロール隊。

「新入隊員の不足や活動のマンネリ化等の課題はあるが、10 周年を機に何か特別なことを考えたい。」と石井隊長。玉島地区でいち早く結成された玉島中央交番自主パトロール隊は、地域に定着し、各隊員の地域安全に対する熱意、そして住民からの期待と感謝を支えに活動を続けています。



パトロールの様子



団体のプロフィール

- **結成**
平成 18 年
- **結成の経緯**
「子どもの安全・安心を守ろう」という
地区住民の声かけによりパトロール隊を結成
- **団体の構成等**
・代表：高田 博式さん
・構成：30 名（結成時 68 名）
- **活動内容等**
・活動区域：笠岡市番町地区
・活動内容：小学校児童の下校時の見守り・
安全指導



笠岡市立中央小学校の校長先生と番町ニコニコ隊の皆さん

「ありがとう」を支えに

明日から夏休みの平成 25 年 7 月 19 日（金）、笠岡市立中央小学校図書室に番町ニコニコ隊の隊員が集まりました。

1 学期最後の見守り活動を前に、暑い日も寒い日も、子どもたちのため、地域のために頑張ってくださっている番町ニコニコ隊の皆さんへ校長から「児童を対象とした事件が全国的に発生する中で、皆さんの温かい愛情に感謝し、そして安心しています。子どもたちには“見られていることは当たり前のことではなく、特別なこと。感謝の気持ちを忘れないように”と指導していきたい。」と感謝の言葉が述べられました。

「ほとんどが結成当初からのメンバーのため、若い人に一人でも多く参加してもらいたいとの願いや、高齢の隊員もいるため何かあったときに対応できるか等の不安もあるが、“無理なく自分たちで番町の子どもたちを守ろう”を合い言葉に隊員一同、これからも頑張って活動を続けていきたい。」と高田隊長。

意見交換では、隊員から「活動が長時間になると、毎日のこの暑さで愚痴をこぼすこともあるが、子どもたちに“ありがとう”といわれると、とても嬉しいし、やりがいがある。」との意見もあり、活動力の源は子どもたちの安全のためということを実感しました。



見守り活動の様子



意見交換の様子



平成 25 年 5 月 20 日
防犯功労団体表彰を受賞

団体のプロフィール

- **結成**
平成 18 年
- **結成の経緯**
全国的に子どもに対する犯罪が続発し、その対策の一環として活動を開始
- **団体の構成等**
 - ・代表：島田 隆章さん
 - ・構成：43 名
- **活動内容等**
 - ・活動区域：旭地域
 - ・活動内容：地域防犯パトロール（毎週月・水・金曜日実施）
高齢者宅訪問
旭小学校の児童の見守り



ふるさとを明るい地域に



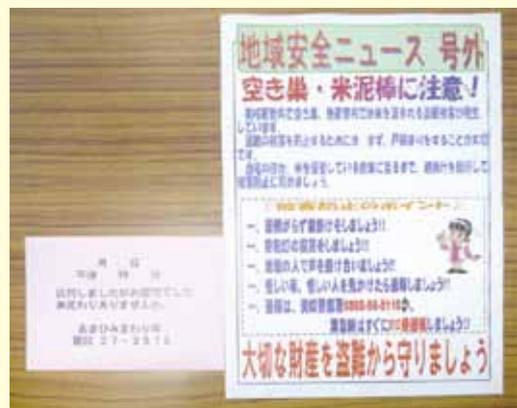
あさひみまわり隊は、「子どもたちの見守り」「高齢者の見守り」「地域環境等の見守り」の三本柱を中心に活動を実施しており、特に、点在している集落の巡回、高齢者等の安否確認を重点的に行っています。

高齢者の訪問対象は、現在約 170 名ですが、地域内を 5 コースに分けて順次訪問しており、活動内容はすべて日誌に記載して隊員全員が把握できるようにしています。

訪問先では「体調はどうですか?」「変な電話は架かってきてないですか?おかしかったらすぐ警察に連絡してくださいね」等、日常の会話から防犯指導まで行い、不在時には防犯ビラに連絡票を添えて訪問を知らせる工夫もしています。

子どもの下校時間に合わせて約 2 時間のパトロール中、青パトの車内では「〇〇さんのところは今は一人暮らし」「あそこは空き家になっている」等、絶えず情報交換が行われており、隊員の活動に対する熱意が伝わってきます。

過疎化により、みまわり隊のメンバーも 60 ~ 70 歳代ですが、青パトの回転灯や啓発アナウンスに気付いて手を振る住民の姿や、お年寄り、子どもたちの明るい笑顔が活動の励みになっており、今後も三本柱を中心に、地域住民の防犯意識の向上、独居高齢者の見守り等に力を注ぎ、“守ろう!ふるさと 人と自然のみまもり”をキャッチフレーズに活動を続けていきます。



防犯ビラと連絡票



子どもの安全

小学校でインターネットを活用した安全学習に取り組みませんか

県は、これまで積極的に取り組んできた「地域安全マップづくり」に加え、インターネットを活用した安全学習を導入し、平成25年度は、5つの小学校で約350人の児童が取り組みました。

児童は、防犯教室で習った「いかのおすし」の復習や、こわい人は顔ではわからないこと、悪い人は子どもの親切な心を利用して連れ去ろうとすることなどを学習しました。

授業の中で、「知らない人にお菓子をあげるからおいでと言われたけど、断ってよかったことがわかった。」という発表に、みんなびっくりという場面もありました。

本年4月には、実施を希望される小学校の募集を行います。システムの設定や授業の支援を、県の担当者が行いますので、ぜひ、チャレンジしてみてください。



問1 こわい人はどんな顔をしているのかな？

- ① マスクとサングラスをしている人
- ② おじさん
- ③ 若い女性
- ④ 若い男性



問2 こんな時、あなたならどうしますか？

若い女性がおなかを押さえてうずくまっていた。あなたが通りかかると「おなか痛いので荷物を持ってください」と頼まれました。

- ① おうちまで荷物を持ってあげる
- ② 「ごめんなさい」と言って帰る

「パパママ隊」を募集しています ももっちネックストラップを配布します

県内各地で「子ども見守り活動」が活発に行われています。

子どもたちの保護者であるパパやママも、見守り活動を開始してみませんか？

○募集対象

保護者が子どもを送迎している施設（幼稚園、保育所、地域子育て支援施設、児童館、母親クラブ等）単位による、構成員5人以上の団体を募集します。

○活動内容

1人でも多くの方に「地域の安全を守る」という気持ちを持っていただき、子どもの安全を見守ってもらう活動です。

○登録方法等

県ホームページ内のキーワード検索で「子ども見守り団体」を検索してご覧ください。登録された団体には構成員人数分の「ももっちネックストラップ」をお届けしています。



平成25年中の特殊詐欺の被害額が **11億円** を超え過去最悪に！

- ・ 現金を預かります！
- ・ 現金を小包等で送ってください！
- ・ 必ずもうかります！

これらの言葉は、詐欺のキーワードです。被害者の77.2%が**60歳以上**の方です。パトロール等の際、お住まいの地域の高齢者の方にも一声お掛け下さい



お問い合わせ



岡山県 県民生活部 暮らし安全安心課
〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号

電話 086-226-7259
FAX 086-225-9151

<メールアドレス> anzenanshin@pref.okayama.lg.jp

<ホームページ> <http://www.pref.okayama.jp/> (岡山県) ▶ 組織で探す ▶ 県民生活部『暮らし安全安心課』

<フェイスブック> <http://www.facebook.com/kurashianzenanshin>